

科目名	経済理論A	科目コード	1159	単位数	3
担当者名	深澤 史樹	開講semester	第5semester	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

現代経済学の特徴の一つは、経済現象の因果関係の解明や諸々の仮説に関する議論に経済モデルを用いることである。この授業では、こうした経済学的手法の修得を通して、ケインジアンと古典派のモデルの相違を理解した上で、価格伸縮性とフィiscalポリシーに関する現代的課題を解決する道筋を自ら発見することをねらいとする。

● 到達目標

- ・ 財政政策や金融政策の効果を、IS-LMモデルを用いて説明できる。
- ・ ケインズ経済学と新古典派経済学の方法論の違いを理解し、その相違が現実の政策（ミクロ的政策も含めて）にどう反映されているかを、説明できる。

● 授業内容

- 1週目 マクロ経済学の基礎（SNAにおける諸概念と国民経済計算の構造）
- 2週目 経済モデルを読むための簡単な数学（関数、微分と導関数、行列と行列代数）
- 3週目 乗数モデル（1）：均衡と乗数過程
- 4週目 乗数モデル（2）：財政均衡の問題、マクロ・バランス+小テスト（1）
- 5週目 IS-LM分析（1）：流動性選好理論と貨幣市場
- 6週目 IS-LM分析（2）：IS曲線とLM曲線の定義と均衡解の導出
- 7週目 IS-LM分析（3）：均衡解の政策的含意、補正的財政政策の効果
- 8週目 IS-LM分析（4）：クラウディング・アウト効果、公債残高と資産効果
- 9週目 IS-LM分析（5）：金融政策の諸手段と政策効果
- 10週目 IS-LM分析（7）：ポラー・ケースの分析+小テスト（2）
- 11週目 AD-AS分析（1）：総需要関数の導出
- 12週目 AD-AS分析（2）：総供給関数のミクロ的基礎
- 13週目 AD-AS分析（3）：総供給関数の導出
- 14週目 AD-AS分析（4）：物価とインフレーション
- 15週目 失業とインフレーションに関する予備的考察（現象と学説の変遷）+ 期末テスト
- 16週目 期末テストの返却、講評、追試験等の実施。ただし、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・ 事前にテキスト、CoursePowerを通じて配信されるレジメを読み、内容・ポイントを把握しておくこと（所要時間：90分程度）。
- ・ 事後の学習は、適宜課される宿題や課題、レジメの見直し等でさらに理解を深める（所要時間：90分程度）。

● 成績評価の方法・基準

- ・ 成績は、小テスト・課題（70%）と期末試験（30%）で評価する。

● 履修上の留意点

- ・ 第1週目のガイダンスは、講義の重要な説明をしますので、必ず出席して下さい。
- ・ 成績評価は、11週以上授業に出席した学生を対象とする。

● 課題に対するフィードバックの方法

- ・ 小テストの返却と講評は原則として実施した翌週の講義の中で行います。

● テキスト

N・グレゴリー・マンキュー(著),足立英之(他訳),『マンキュー経済学 マクロ編(第4版)』(東洋経済新報社),2019年,4,000円+税

● 参考書

N・グレゴリー・マンキュー(著),足立英之(他訳),『マンキュー マクロ経済学 入門篇(第4版)』(東洋経済新報社),2017年,3,800円+税

● 更新日付

2022/02/01 03:51